

2023年9月22日

## 2社の「SDGs宣言」策定を支援

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）では、取引先2社の「SDGs宣言」策定を支援いたしましたので、お知らせします。

当行では、2021年10月より、地元企業の皆さまのSDGs経営を応援する伴走型サービスとして「むさしのSDGsコンサルティング」の取扱いを行っており、本件はこれに基づく「SDGs宣言」策定となります。

あわせて、さいたま市の「SDGs企業認証制度」<sup>注</sup>申請支援も行っております。

当行は今後も持続可能な地域経済および社会の実現に向け、お客さまのSDGsの取組み支援などに注力してまいります。

注 「さいたま市SDGs企業認証制度」

- ・さいたま市が2021年より開始した、SDGsの理念を尊重した経営を推進する市内企業を認証する制度で、企業の持続的成長に向けた取組みを後押しすることを目指しています。
- ・当行は、市内企業におけるSDGsの取組み推進に貢献するため、さいたま市との包括連携協定に基づき「むさしのSDGsコンサルティング」のサービスメニューに本制度の認証取得に向けた支援を加えています。

### 《「SDGs宣言」策定企業》

- (1) オリヤス 株式会社
- (2) 有限会社 プライドロック（さいたま市SDGs企業認証制度申請支援）

以上



報道機関からのお問い合わせ先  
ソリューション営業部 コンサルティング営業室 坂本 芳文  
TEL (048) 641 - 6111 (代)

《SDGs 宣言策定企業の概要》（各社の宣言内容の詳細は別紙を参照ください。）

企 業 名	オリヤス 株式会社	有限会社 プライドロック
代 表 者	代表取締役社長 安達 裕之	代表取締役 菅原 卓
所 在 地	埼玉県所沢市北秋津121	埼玉県さいたま市緑区太田窪1丁目15-4
業 種 お 業 事 業 内 容	・ 食品包装資材の企画及び販売業	・ コンビニエンスストア事業（ファミリーマート）
創 業 お 業 設 び 立	1976年10月5日	2005年7月1日
宣 言 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本古来から続く、良き包装文化の伝承を目指します</li> <li>・ 従業員がイキイキと、笑顔で勤められる会社を目指します</li> <li>・ 温室効果ガスの低減に向けた環境経営を目指します</li> <li>・ 地域とのつながりを深め、地域貢献を推進します</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 持続可能な社会実現のため、食品ロス問題や省資源化へ果敢に取り組む</li> <li>・ 皆が夢や希望を持って安心して働くことができ、スキルアップできる職場</li> <li>・ 地域の脱炭素推進をリードしていく</li> <li>・ 安心安全な地域社会の実現に貢献する</li> </ul>



2023年9月11日

# オリヤス株式会社 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、  
SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 安達 裕之

## SDGsの達成に向けた取り組み

### 日本古来から続く、良き包装文化の伝承を目指します

- ・当社は創業以来約70年、食品包装資材を取り扱う専門商社として、変貌する包装資材のマーケットに挑戦を続け、環境にやさしい環境配慮型資材等の商品開発にも力を入れてきました。
- ・今後は、鮮度保持機能素材を用いた包装資材の開発と販売を推進し、フードロスの削減に向けた企業努力も行っていきます。
- ・また、包装資材を省くことなく、あえて用いることで商品価値を高める、『日本の包む文化』を大事にしていきます。



#### 【指標】

2022年度 環境配慮型・鮮度保持機能資材の売上構成比 11% ⇒ 2030年度 20% (+9%)

### 従業員がイキイキと、笑顔で勤められる会社を目指します

- ・ワークライフバランス実現のため、各部署での互換性や生産性を向上させ、残業時間の削減に務めるとともに、有給休暇の取得率UPを目指します。
- ・従業員の健康意識を高めるため、継続的な「健康優良法人」の認定を目指します。
- ・様々な違いをもった社員をそれぞれの価値として活かす経営を目指すため、障がい者雇用を積極的に進めます。

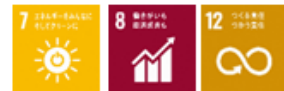


#### 【指標】

2022年度 有給休暇取得日数(正社員平均値) 7日 ⇒ 2030年度 12日(+5日)

### 温室効果ガスの低減に向けた環境経営を目指します

- ・DXにより、卸売り業務のシステム化や効率化をさらに進め、ペーパーレス化を推進していきます。
- ・梱包資材の切り替えやリサイクル資材を積極的に採用し、梱包資材の使用量削減を目指していきます。
- ・環境に配慮した社用車への入れ替えを進めていきます。



#### 【指標】

2022年度 社用車の環境配慮型車両の比率 28% ⇒ 2030年度 60% (+32%)

### 地域とのつながりを深め、地域貢献を推進します

- ・近隣の『子ども食堂や児童養護施設』へ食品容器の寄付を行っていきます。
- ・主要な仕入れ先の会員組織等を通じてパートナーとの連携を高め、業界の発展や地域への貢献を行っていきます。



#### 【指標】

2022年度 子ども食堂等への寄付 食品容器 1,500食 ⇒ 2030年度 5,000食(+333%)



2023年9月13日

# 有限会社プライドロック SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、  
SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 菅原 卓

## SDGsの達成に向けた取り組み

### 持続可能な社会実現のため、食品ロス問題や省資源化へ果敢に取り組む

- ・コンビニエンスストア業界最大の課題である『食品ロス削減』に向け、あらゆる取り組みを行っていきます。
- ・具体的には、本部への発注数の精度を更に高めるほか、こまめな店舗オペレーション（「てまえどり」の推奨、「エコ割」の利用、値下げ販売の使い方や声かけ等）の実施を、スタッフに徹底していきます。
- ・店舗から出るゴミ、特にプラスチック系のゴミを減らしていくため、店舗オペレーションや顧客への声掛け等の工夫を重ね、ゴミ袋・レジ袋・はし・スプーン等の用度品の発注量削減に取り組んでいきます。



#### 【指標】

2022年度 食料品売上に占める食品ロス率（金額） 7.2% ⇒ 2030年度 3.6%（▲50%）  
2022年度 店舗で利用する用度品 4,407ケース（発注倍数）⇒ 2030年度 3,084ケース（▲30%）

### 皆が夢や希望を持って安心して働くことができ、スキルアップできる職場

- ・シフト管理を徹底し、健康管理に努めるほか、働きやすい職場環境づくりにも力を入れていきます。
- ・店長・マネージャーが中心となってSST研修（※）を実施し、ファミリーマートの資格制度『ファミマ マスター（上級）』の取得者増加を目指します。
- ・外国人スタッフには、様々な言語のマニュアルを作成し、言葉に加えて生活ルールの教育も行っていきます。
- ・店長・マネージャーやスタッフのモチベーション向上のため、昇給基準による時給UPを行っていきます。



（※）SST（ストアスタッフトータルシステム）とは、スタッフを対象とした様々な教育プログラムのことです。段階的に学べるプログラムで、一人ひとりのステップアップをサポートしています。「ファミマ スタッフ」にはじまり、「ファミマ マスター」「ファミマ サブトレーナー」「ファミマ トレーナー」「ファミマ マスター」までの5段階に分かれています。

【指標】 2022年度 ファミリーマートの上級資格取得者数 9名 ⇒ 2030年度 累計35名

### 地域の脱炭素推進をリードしていく

- ・事務所や店舗の節電を進め、CO2排出量を削減していきます。
- ・具体的には、冷暖房の温度設定や店内調理用フライヤーの電源をこまめに設定する等の取り組みを行っていきます。



#### 【指標】

2022年度 全体の電気使用量 1,646,964kwh ⇒ 2030年度 1,482,000kwh（▲10%）

### 安心安全な地域社会の実現に貢献する

- ・地域社会を『ファミリー（家族）』にとらえ、地域社会の課題解決に取り組んでいきます。
- ・地域の防犯や見守り拠点としての機能を強化し、子どもからお年寄りまで安心して暮らせる社会の実現に貢献していきます。また、災害時の災害支援拠点としての機能も強化していきます。
- ・自治会等の地域行事へ積極的に参加していきます。

